

4次元仮想化都市空間

池内克史^{†1}

本講演では、現実世界をクラウドコンピュータ上に表現する仮想化空間とその応用について概説する。仮想化には、建物などの静的な情報を仮想化することと人や車の動きを表現する動的な情報の仮想化の2種類がある。これらの手法を解説するとともに、これらがどう生活に役に立つかを考える。この際、現在の状況だけでなく、過去や未来の像をも生成することで応用範囲が格段に広がることについても言及する。

^{†1} 東京大学大学院情報学環
The University of Tokyo Interfaculty Initiative in Information Studies